

2020年9月13日

2020年度 第63回秋期季節外（クロスカントリー）競技会  
新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

季節外競技部長  
小林 祐樹

【連盟・参加大学共通】

- ◆以下に該当する者は競技会へ参加しない。
  - ・ 37.5度以上の発熱がある方
  - ・ 37.5度未満であっても、咳、咽頭痛、倦怠感など体調不良を感じる方
  - ・ 新型コロナウイルス感染症 陽性とされた方及び濃厚接触した可能性がある方
  - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・ 過去 2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方
- ◆参加者全員のマスク着用を必須とし、咳エチケットを徹底すること。
- ◆まめな手洗い、手指消毒を徹底すること。
- ◆3つの「密」（密集・密閉・密接）を避けること。
- ◆参加者は全員、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をダウンロードし、通知機能を有効にしておくこと。

【参加大学へのお願い】

- ◆更衣時・ミーティング時には人と人との距離を十分に確保すること。
- ◆ドリンクの回し飲み、コップの使い回しはしないこと。個人ごとのボトルを用意する、またはコップ等使い捨て容器を用意すること。
- ◆各大学の監督・コーチの来場を3名以内とする。
- ◆選手送迎以外のOB・OGの方、保護者の方の来場は遠慮いただくこと。
- ◆競技後のミーティングは簡潔に済ませ、懇親会などの会食はしないこと。
- ◆競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、連盟に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ◆参加校は参加者全員（監督・コーチ含む）の別紙「新型コロナウイルス感染症対策 参加者名簿・検温チェックリスト」を作成（名前・連絡先・当日の体温記入）し、当日受付に提示すること。（名簿・検温チェックリストは確認後直ぐに返却するので、後は各校にて保管するものとする。）

【競技会について】

- ◆受付担当役員は、マスクにフェイスガードを着用する。

- ◆開会式・閉会式は各大学の代表者のみで行う。
- ◆開会式では各大学の代表者に競技の注意事項を伝える。
- ◆閉会式での表彰式は行わず、後日各大学へ賞状・賞品を郵送する。
- ◆距離確保の目印を設置する。(開閉会式・スタート位置など)
- ◆ソーシャルディスタンスを考慮し、スタート方法を変更する。  
昨年度の秋期季節外競技会の参加人数(大学生のみ)  
女子アルペン 約30人  
女子ノルディック 約30人  
男子アルペン 約100人  
男子ノルディック 約60人  
→各カテゴリーとも、10名1組ごとのスタートに分散、またはスタート位置を分散するなど、スタート地点での選手の密を避ける。  
※申込状況を見て、最善と思われる方法を選択する。
- ◆競技中に、唾や痰をはく行為は極力行わないこと。
- ◆競技者以外の競技エリアへの立ち入りを禁止する。(競技エリアは別途マップにて表示)
- ◆競技会は無観客開催とする。
- ◆声を出しての応援や拍手・手拍子等はしないこと。
- ◆競技エリア内での給水は禁止する。※ゴールエリア付近に連盟にて給水を用意する。
- ◆競技者はスタートエリアに入るまではマスクを着用すること。ただし、各自の荷物置き場にマスクを置いてスタートエリアに集合しても良いこととする。競技終了後も含め、マスクを外している間は大声を出さないよう周りに気をつけること。それ以外はマスクを着用すること。※使い捨てマスクは各自で処分すること。
- ◆競技種目の距離を短縮して行う。  
(競技時間の短縮及び選手の今シーズンの練習強度を考慮)  
男子(アルペン)・女子(ノルディック・アルペン) 3km(3kmコース×1周)  
男子(ノルディック) 6km(3kmコース×2周)

#### 【その他】

- ※参加申込が10校未満の場合は中止する。(男子部女子部関係なく1大学1校とする)
- ※今回、各大学のOB・OGで運営のお手伝いいただける方を臨時役員とする。
- ※エントリー締切りは要項どおり10月11日(日)午後3時必着とする。
- ※今回は高校生、OBOGの部は実施しない。
- ※会場での検温は行わない。※自己検温を忘れた人のために連盟で非接触型体温計を用意しておく。  
マスクを忘れた人用の予備マスクを用意する。
- ※競技会参加者から新型コロナウイルス感染者が出た場合、参加大学・連盟役員・希望が丘文化公園へ速やかに連絡する。